

TOYOTA

1987年6月

1987年 ル・マン24時間レースへの参戦について

トヨタ自動車(株)は、モータースポーツに対し、幅広い支援活動を続けております。中でも、耐久レースに関しましては、「'83年より本格的に開始し、「'85年には「世界で最も偉大」といわれている“ル・マン24時間レース”に初参加し 総合12位という戦績をおさめるなど、着々と成果を収めてまいりました。

こうした耐久レース活動の一環として ’87年“ル・マン24時間”については、取り組みをさらに強化して参加することといたしました。

今年は、(株)トムスと協力して“トヨタ・チーム・トムス”を結成。従来にない支援体制を組み、ル・マンに2台のニューマシンを送り込むこととなりました。

車両は、2回にわたるル・マンの経験を生かし、細部にわたって改良を重ねた トヨタ 87Cであります。搭載エンジンは、2140cc ツインエントリーターボチャージャー付の 3S-GT(改)で、小排気量ながら良好な燃費性能と優れた耐久性を誇っており 昨年のWEC JAPANでは国産エンジン賞に輝き、今年に入ってからも 国内耐久レース 第2戦 富士1000kmでトヨタ・チーム・トムスに勝利をもたらしております。

またシャシーも独自開発を行い、高い信頼性と抜群の操縦性・安定性を得ております。

以上に加え、“トヨタ・チーム・トムス”は、アラン・ジョーンズをはじめ、優秀なドライバー、スタッフに恵まれており、必ずや素晴らしい成績を収めてくれるものと期待いたします。

どうか皆様の ご声援をよろしくお願ひいたします。

以上

トヨタ自動車株式会社

★お問い合わせは

広報部第2東京広報課

Tel. 03-817-9120・9128

(株)トムス、トヨタ・チーム・トムス概要)

(株)トムスは'74年、元トヨタワークスドライバー館信秀が、同じくワークスドライバー大岩湛矣らと設立したトヨタ車のチューニングショップである。主にエンジンを中心としたツーリングカーのチューンアップやレーシングパーツの開発、販売を行なって、着実な発展を続けてきている。

また、会社設立と同時に、トヨタ自動車のバックアップのもとにレース活動を開始し、国内外の数多くのレースに参加し、優秀な成績をあげている。特にマカオGP、マレーシアGPなど東南アジアでの活躍は目覚ましく、今日のトムスの地位を確固たるものにした。

'80年には、(株)童夢との初プロジェクトとして、童夢セリカターボを共同製作、グループCによる耐久レースに参加、セブリング12時間レース、リバーサイド6時間レースに出場した。

その後、'82年よりトヨタ製レース用エンジンを搭載したグループCレーシングカーの開発を開始し(株)童夢との協力体制のもとに、トヨタ童夢セリカC(82年)、トヨタトムス83C(83年)、同84C(84年)、同85C(85C)、同86C(86年)トヨタ87C(87年)と、毎シーズン製作している。

これらのグループCカーを用い、トムスは国内を中心に耐久レースに参加し、世界の強豪と互角の走りを見せている。

特に今年は、トヨタ自動車(株)との協力関係を強化し、「トヨタ・チーム・トムス」を結成。新エンジン 3S-GT改を搭載したニューマシン“トヨタ87C”をもって国内耐久レースシリーズ全戦に出場する他 ル・マン24時間レースに挑戦する。

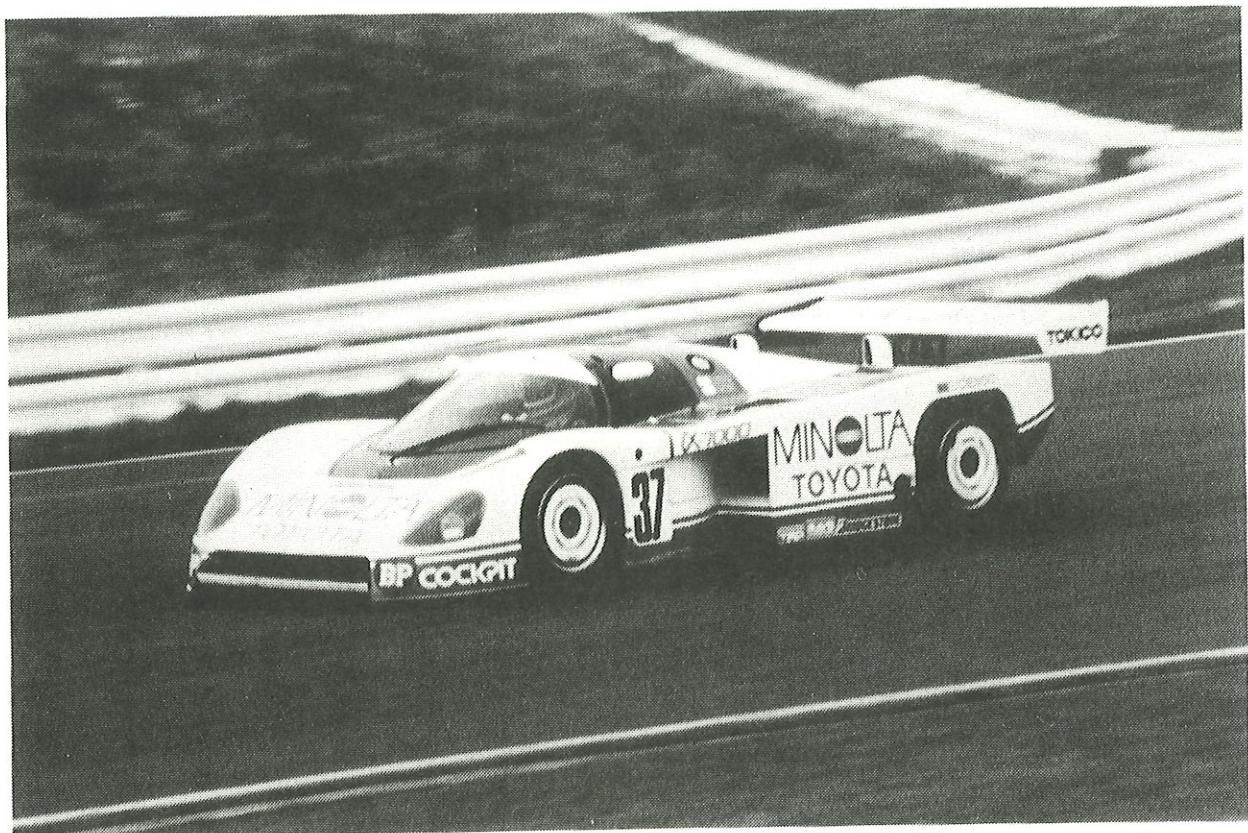


館 信秀 (1947年生)

1965年にトヨタパブリカでデビューし、1970年よりトヨタ専属ドライバーとして活躍。1974年(株)トムスを設立し、トヨタ車チューナーとして成功。現在ドライバーとして活躍する一方、トヨタ・チームトムスの監督として優れた能力を発揮している。

(株)トムス、トヨタ・チーム・トムス ル・マンへの挑戦)

- '80年 竜夢との共同開発のセリカターボでル・マンを試走、本戦には不出場。
- '85年 国内耐久レースで活躍しているトヨタ製レース用エンジン 4T-GT
(改) 搭載のニューマシン、トヨタトムス 85C-Lで、ル・マン 24
時間レースに初挑戦。並みいる強豪チームを相手に健闘し、完走総合12
位という素晴らしい成績を収めた。
これは、日本人ドライバーのみによる純日本製Cカーでは、最高の成績
であった。
- '86年 前年出場したトヨタトムス 85C-Lを龍夢と共に改良、トヨタトムス
86C-Lで再びル・マンに挑戦したが、惜しくもリタイアした。
- '87年 トヨタ自動車㈱と協力し、トヨタ・チーム・トムスを結成。 国内耐久
レースでは、5/3富士1000kmレースで優勝するなど圧倒的な性能を
示しているトヨタ製レース用エンジン 3S-GT (改) 搭載のニュー
マシン トヨタ 87Cをもってルマン上位を狙う。



トヨタ 87C

トヨタ・チームトムス参加スタッフ

参加車両

トヨタ87C

ドライバー

alan·ジョーンズ

ジェフ·リース

エイエ·エルー

ティフ·ニーデル

関谷 正徳

星野 薫

スタッフ

チームディレクター

館 信秀

マネージャー

ジョン·ウィッカム

(カーノ. 36)

マネージャー

大岩 深矣

(カーノ. 37)

チーフメカニック

野呂 正人

(カーノ. 36)

チーフメカニック

横山 良和

(カーノ. 37)

[ドライバーズ・プロフィール]

アラン·ジョーンズ (ALAN JONES)
1946年11月2日生まれ、40歳。国籍 オーストラリア

1956年10歳でレーシングカートに参加。ビクトリア・ジュニア・チャンピオンシップ優勝。オーストラリアチャンピオンシップ優勝という素晴らしい成績でスタートした。

73年には、プロレーサーとしてデビュー、ランパートF3チャンピオンシップ優勝、英国F3チャンピオンシリーズ2位となった。

75年には、F1にデビュー。初レースシルバーストーンにて6位となり、77年には、シャドーチームに参加し、オーストラリアGPにて初優勝を飾り、シリーズ7位となった。

79年よりウィリアムズ・チームよりF1に出場。年内4勝。80年には年間6勝をあげ、F1世界チャンピオン モータースポーツ最高の栄誉を獲得した。

その後、83年にはルマン24時間レースにクレーマーポルシェチームより参戦、総合7位となった。

85~86年にかけては、再びF1にカムバック。ローラ/フォードをドライブした。F1の現役ドライバーである。87年からは、トヨタ・チーム・トムスの専属ドライバーとなり、全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権に出場、5月3日に行なわれた“富士1000kmレース”においては、優勝を飾っている。

ジエフ・リース (GEOF F LEE S)
1951年5月1日生まれ、35歳。国籍 イギリス。

1972年、20歳の時よりフォーミュラ・フォードに乗りレーシング・ドライバーの道を歩み始めた。シーズン4年目の1975年には、40戦中33勝という驚異的な記録を残して注目を集めた。

'76年には、F3にステップ・アップした。

'78年からはヨーロッパF2シリーズに参加し、アメリカのカンナム・シリーズにも出場している。'79年にはドイツGPでF1を初ドライブした。そして、'80年に世界F1グランプリ・シリーズにシャドウ・チームおよびセオドール・チームのドライバーとして参戦。

'81年、再びヨーロッパF2選手権シリーズにラルト・ワークス・チームより参戦し、活躍。その年のヨーロッパF2チャンピオンの座に着いた。

'82年はF1シリーズに戻り、セオドール・チームおよびロータス・チームのドライバーとして参加。また、ル・マン24時間レースにも、アストン・マーチンで初挑戦した。

'83年には日本に滞在F2シリーズで活躍、年間4勝をあげ全日本F2シリーズのチャンピオンを獲得した。

トムスとは、'86年より契約、国内耐久レース、ルマン24時間レースで活躍し、本年も国内F3000シリーズで一勝している他、全日本スポーツプロトタイプカー選手権では、トヨタ・チーム・トムスのドライバーとして出場した“富士1000kmレース”において優勝を飾っている。

エイエ・エルー (EJE ELGH)
1953年6月15日生まれ、31歳。国籍 スウェーデン

モトクロスライダーとして活躍していた父親の影響を受け、12歳よりレーシング・カートを始める。

20歳までの8年間に約200レースを戦い、スウェーデンチャンピオン2回、スカンジナビアチャンピオン1回を獲得する。

22歳の時、単身英国に渡り、本格的なレーシングドライバーとして、活躍を始める。

'75年～'77年シェブロンワークスチームよりF3ヨーロッパシリーズに出場。

'78年からは、同じくシェブロンワークスチームのドライバーとしてF2ヨーロッパシリーズにフル出場する。

'80年にマウラーワークスチームに移籍。'81年にはヨーロッパ選手権シリーズ3位となる。

'82年には、マーチ82Gでル・マン24時間レースに参加。全日本F2選手権にも参加を始める。

'83年には、トヨタのメインチームの一つである童夢と契約。本格的に日本国内レースに参加。国内耐久レース、F2レース、ルマン24時間レース、マカオGP等に出場し、活躍。'84年には、全日本F2選手権シリーズ4位となる。

'85年は、ワコールトヨタ童夢84Cで、鈴鹿500Kmレースに優勝他、トヨタ童夢85Cでル・マン24時間レース出場。富士500Kmレースで2位の成績を収める。

'86年はワコールトヨタ童夢86Cで全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権シリーズ全戦、また、ワコールトヨタ童夢86C-Lでルマン24時間レースにも出場。また、全日本ツーリングカー選手権レースにも参加している。

ティフ・ニードル (T I F F N E E D E L L)
1951年10月29日生まれ、35歳。国籍 イギリス。

1971年 19歳の時よりフォーミュラ・フォードに乗りレース界にデビュー。4年目の1975年には、タウンゼント・トーセン・チャンピオンシップに優勝し、'76年には、2000ccクラスでシリーズタイトルにまであと1ポイントにせまる成績をあげた。

'77年、プロに転向。ユニバートチームよりF3に参戦、'78年には、ネルソンピケラに続き、シリーズ4位にはいった。

'79年 英国F1シリーズに転向、初戦で2位に入る健闘をみせた。

'81年 フォーミュラカーレースから耐久レースに転向、ルマン24時間レースを皮切りに各地を転戦。'86年には、クレーマ・ポルシェチームの一員としてシルバーストーン1000kmレースに出場。3位に食い込んだ。

'86年は、この他、世界スポーツプロトタイプカー選手権各戦に、アストンマーチン、ランボルギーニ、トヨタの各チームに参戦している。

日本では、'79年 ル・マンチームに参加し、F2シリーズに出場している。また、'83年には童夢チームに、また、'84～'85年は、チーム・イクザワに参加し、トヨタエンジン搭載の耐久マシンで全日本スポーツプロトタイプカー選手権に出場。富士1000kmレースで3位という結果を収めている。

園谷 正徳
1949年11月27日生まれ、37歳。国籍 日本。

1971年22歳の時に富士500Kmレースでデビュー。ツーリング・カーを中心に活躍してきた。'77年には富士マイナーツーリングカーチャンピオンを獲得している。

'79年にはマツダ・ファクトリー・チーム・ドライバーとして活動した。'81年には、英国に渡り、フォーミュラ・アトランティックに出場し、6戦のうち5戦入賞し、その実力を高く評価された。トムスとは、'83年より契約を結び、ツーリングカーをはじめ、グループCカーを中心にドライバー活動をおこなっている。

特に、'85年、'86年、2年連続で、ルマン24時間レースに出場、「85年は、日本人として初めての完走、12位という素晴らしい成績をおさめた。

本年は、トヨタ・チーム・トムスのドライバーとして、全日本スポーツプロトタイプカー選手権に出場、“富士1000kmレース”では優勝のチェックフラッグを受けている。

星里子 真
1947年9月21日生まれ、39歳。国籍 日本。

20歳でモータースポーツ界にデビューした。ツーリング・カーを中心に今まで、一戦級の走りを見せる。特にトヨタ車をドライブして、'78年と'84年の2回で富士マイナーツーリングカーチャンピオンを獲得した。

トムスとは、'82年以来の契約。貴重なドライバーとして、ツーリングカーやグループCカーで活躍しており、そのいきのいいドライビングには定評がある。

'85年には、ルマン24時間レースにトヨタトムス85C-Lにて出場。日本車初の完走、総合12位となった。また、この年、全日本ツーリングカー選手権レースにトランピオチームより出場。総合優勝を果たしている。

本年は、全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権を中心に活躍している。

トヨタ 87C 車両概要

[エンジン]

型 式	トヨタ 3S-GT改
種 類	水冷直列4気筒DOHC(16バルブ ターボチャージャー付)
ターボチャージャー	トヨタ製ツインエントリ・シングルターボチャージャー
ボア×ストローク	89.0 × 86.0 mm
総排気量	2,140 cc
燃料供給方式	EFI (日本電装製)
圧縮比	7:1
最高出力	680 ps / 8500 rpm
最大トルク	65.0 kg·m / 5,500 rpm

[ボディ & シャシー]

カウル	CFRP ハニカム サンドイッチ コンポジット	
寸法	全高	1,040 mm
	全長	4,625 mm
	全幅	1,990 mm
ホイールベース	2,700 mm	
トレッド前／後	1,600 / 1,575 mm	
車両重量	850 kg以上	
燃料タンク	98.5 ℥ (ATL社製安全タンク)	
トランスミッション	85T (マーチ社製)	
クラッチ	ボーグ&ベック トリプルプレート	
サスペンション	前	ダブルウィッシュボーン／アウトボード コイルスプリング
	後	ダブルウィッシュボーン (ロッキングアーム式) / インボード コイルスプリング
ブレーキ	前	ロッキード 14インチ ベンチレーテッドディスク
	後	"
タイヤ & ホイール	前	320×30 17 (ブリヂストン)
	後	340×40 19 ("")